もりこう

Issue on September 1, 2021

VOL.51

発行所：大森学園同窓会
大田区大森西3-2-12
大森学園高等学校内
お問い合わせ：TEL 03(3762)7336(代)
FAX 03(3766)0314
Mail：info@moriko-kai.jp
URL：https://www.moriko-kai.jp/
発行責任者：大谷正勝
編集責任者：広報委員会
題　字：山崎正男先生

令和3年 現在の学び舎写真

これからの同窓会活動について

もりこう会 会長　大谷 正勝

会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素はもりこう会（以下本会と称す）に、ご支援ご協力をいただき誠に有難うございます。

昨令和2年度は新型コロナの感染状況から、本会は関係各位の安全安心を最優先と考え諸活動を全面的に休止と致しました。令和3年も依然としてコロナ禍のなか、新たに感染力の強いと云われる変異ウイルスの出現もあり、識者は予断を許さない状況が続いていると述べています。

本会はこの状況を注視しつつ、母校の教育環境維持に意を注いでおられる現況を参考に、健康・安全に心して4月より活動への準備を再開しました。

先ず本会活動の中心をなす、会報発行と通常総会の開催準備に着手しました。この2つを遂行するにあたっては、準備期間を考慮のうえ会報の発送を9月上旬に、総会の開催予定日を10月2日（土）としました。会報は例年とは異なる環境下での編集作業でしたが昨年度分の50号と本年度分の51号を、当初の計画通り発行に漕ぎつけることができ、担当役員一同安堵した次第です。尚、総会についても開催準備を進めて参りましたが、ここにきて感染者数の急拡大が続くなか、総会会場等での安全確保が困難との判断から「お知らせ」（本会報8ページ参照）のとおり、誠に残念ですが中止と致すこととなりました。

さて、本会は昭和28年（1953年）に数名の先輩有志により旗揚げされ、以来活動は多くの先輩たちに引き継がれ、本年4月には68回目の春を迎えました。

現在会員は80歳を超える方々から、本年3月に学窓を巣立った若人の皆さんまで、会員数は累計2万5千余名に達しております。これも同窓会の灯を絶やさずと活動に励み、継承してこられた先輩諸兄ならびに学園関係各位のご支援ご協力の賜物であります。

ところで母校は永年工業系男子高でありましたが、平成17年男子のみを入学対象とする普通科が加わり2年後に同科は男女共学となり現在に至ることはご存知のとおりです。

本会はこの経緯から、平成22年（2010年）3月最初の女性会員を迎えました。以来10余年を経た現在、本会リストには男性会員名と並び多くの女性会員名が記されております。この現況に鑑みると、これからの活動運営等には今まで以上に、老若男女を問わず様々な会員のご意見等を、反映していく必要ありと思っております。そのためには先ず手薄となっています若手世代役員を募ることが、本会にとり喫緊の課題と言わねばなりません。会員の皆さん、男女を問わず奮って応募をお願い致します。

かつて恩師や先輩のお誘いや同期生の声掛けがキッカケで、活動に加わった多くの現役員同様に是非役員会に加わり、本会にエネルギーと新風を吹き込んでください。

役員一同、ご一緒に活動できる日を楽しみにお待ちしております。

最後になりましたが、今日先の見通しづらい状況にありますがご自愛のほど心よりお祈りいたします。

※役員活動など、不明な点は本会事務局長百瀬浩一先生へお問合せ下さい。

大森学園高等学校
☎03-3762-7336（代表）

令和3年8月23日記

理事長 米澤正倫 先生にお会いしました！

令和三年七月六日に母校正面玄関で理事長米澤正倫 先生とお会いし、お写真を一枚撮らせて頂きました。先生は現在九十二歳になるそうで、現在も週四回学校に通勤しております。

現在校内はマスク着用ですが、周囲を確認し撮影のときだけ外して頂きました。

広報委員長　渡辺　亮

生徒達は元気に頑張っています！

校長　畑澤正一

新型コロナウイルス感染拡大から、一年半が過ぎようとしています。新型コロナ対策として、医療関係者や65歳以上の高齢者へのワクチン接種が始まり、第2回の接種が行われているところです（6月末）。そして自治体や職域接種により、64歳以下の若い方にも接種が始まりました。

卒業生の皆様にはコロナ禍の下、お元気にお過ごしでしょうか。特に古い卒業生の先輩方には、感染予防対策を十分にされ、安全な生活にご留意ください。

学校は昨年3月の全国一斉休業に始まり、緊急事態宣言、自粛期間、蔓延防止等々、何らかの感染予防対策をせざるを得ない日々が続いています。そのような中でも、クラスター発生や学校・学年休校も無く、無事に対面での学習活動に日々勤しんでおります。

実は、コロナ禍の中、良かったことが一つありました。創立80周年（平成31年）までにICT環境を整備する事業計画を立てました。三年計画で、新型コロナ発生の前年が完成年度でした。昨年春にオンライン授業が叫ばれた時に、いち早く実施ができたのは私立の一部の学校でした。本校もその中の一校で、昨年のGW明けには全クラスでオンライン授業ができていました。地味で目立たないことですが、計画的な学校運営の成果だと思っています。テレビ等で私立学校においてオンライン授業が行われているような映像が流れていましたが、中には一部クラスでの様子が、全てのクラスで行われているように映され、実態とは違う場面もあったようです。公立高校に至っては、全く整備されていませんでした。以前からの工業科での環境整備が大きくものを言った次第で、面目躍如というところです。

今後、コロナ対策が順調に進んで、日常の生活が戻り、一日も早く卒業生の皆さんとお会いできる日が来ることを楽しみにしています。それまでくれぐれもご自愛ください。

最後に、今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。尚、生徒の部活動や近況等をホーム・ページにて配信していますのでどうぞご覧ください。

● https://www.moriko-kai.jp/

◀左記QRコードをご利用ください。

大森学園のコロナ禍での学校生活

教頭　伊能隆晴

二〇二一年度（令和三年度）も、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が依然としてみられない中ではありますが、本校は学校教育活動を停止することなく、一学期が終えられそうです。オンライン授業を数日実施しましたが、学期の大半は対面授業を短縮時程ではありましたが、実施することができました。また、本校ではクラスターどころか、校内での感染事例も発生しておらず、校内での濃厚接触者も出していない状況です。これは教職員と保護者・生徒の努力の賜物であると思います。感謝いたしております。

現在、ワクチン接種も徐々にではありますが開始され、一昨年までの日常生活を取り戻せる期待が持てるような状況にまでなったように思います。今後の学校教育活動は、従来の型にはまった教育活動ではなく、それぞれの状況下で可能な限り、生徒たちが少しでも満足できる、そして思い出に残る活動を行っていきたいと思っています。これから訪れる二学期は、各学期の中でも期間が最も長く、行事もたくさん予定されています。それぞれの教育活動を皆様のご協力の下、生徒たちのために行っていきたいと思います。先を見通せない日々がしばらく続くと思いますが、これからも学園一丸となってこの災禍を乗り切りたいと思います。今後も本学園にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

2021年新型コロナウイルス感染拡大状況と大森学園の歩み

※参考資料
NHK提供
ウェブページなど

月	日	社会状況	大森学園　(①:1年生　②:2年生　③:3年生　G:普通科　T:工業科)
1	5	国内累計感染者数25万人超	
	8	2度目の緊急事態宣言発出　1都3県 (東京・神奈川・千葉・埼玉)	①②始業式(登校してリモート)
	9		③始業式(登校してリモート)
	13	国内累計感染者数30万人超	
	14	緊急事態宣言7府県追加発出(大阪・京都・兵庫・福岡・愛知・岐阜・栃木)	
	22		推薦入試
2	1		③T期末試験　～2/4まで
	4	国内累計感染者数40万人超	
	6		推薦入学試験合格者登校
	7	緊急事態宣言栃木解除	
	8		オンライン授業
	9		オンライン授業
	10		一般入試(1)
	13		一般入試(2)
	28	緊急事態宣言6府県解除(大阪・京都・兵庫・福岡・愛知・岐阜)	
3	3		①②期末試験(3/3・4・6・8)
	5		卒業式(アプリコ)
	7		新入生登校日
	21	緊急事態宣言1都3県解除(東京・神奈川・千葉・埼玉)	
	24	社会状況	終業式(登校してリモート)
4	5	まん延防止等重点措置1県(宮城)	新入生登校日
	6		入学式(きゅりあん)
	7		新入生オリエンテーション(4/7・8・9)
	9	国内累計感染者数50万人超	
	10		始業式(登校してリモート)　特別時程開始(9:00点呼　45分対面授業　17:40生徒完全下校)
	17		③保護者会
	20	まん延防止等重点措置3県(神奈川・千葉・埼玉)	
	24		②保護者会
	25	3度目の緊急事態宣言発出 4都府県(東京・大阪・京都・兵庫)	
		まん延防止等重点措置1県(愛媛)	
	26	国内累計死者数1万人超	①②③特別時程開始(9:00点呼　40分対面授業　17:00生徒完全下校)
	30		①②③オンライン授業4/30、5/1・6・7・8・10・11(9:00点呼　30分授業　20分休憩 6時間)
5	2	国内累計感染者数60万人超	
	9	まん延防止等重点措置2県(岐阜・三重)	
	11	まん延防止等重点措置宮城解除	
	12	緊急事態宣言2県追加発出(福岡・愛知)	①②③別時程開始(9:00点呼　40分対面授業　17:40生徒完全下校)
	14		①②オンライン授業5/14・18・27・31(9:00点呼 30分授業 20分休憩 6時間) ③対面授業
	16	緊急事態宣言1道2県追加発出(北海道・広島・岡山)	
		まん延防止等重点措置3県(群馬・石川・熊本)	
	20	国内累計感染者数70万人超	
	22	まん延防止等重点措置愛媛解除	中間試験　～26日まで
	23	緊急事態宣言1県追加発出(沖縄)	
	29		誠和会総会
6	1		①②③特別時程開始(9:00点呼　40分対面授業　17:40生徒完全下校)
	2		オンラインによる生徒総会
	5		三者面談　～11日まで　(対面・オンライン選択制)
	13	まん延防止等重点措置3県解除(群馬・石川・熊本)	
	19		従来型学園祭一般公開中止　生徒企画によるオンラインでのクイズ大会開催
	20	沖縄除く9都道府県緊急事態宣言解除(東京・北海道・大阪・京都・兵庫・愛知・福岡・広島・岡山)	
		まん延防止重点措置2県解除(岐阜・三重)	
	21	まん延防止重点措置10都道府県(神奈川・千葉・埼玉延長)	
		(東京・北海道・大阪・京都・兵庫・愛知・福岡)	
	25		誠和会カルチャーセミナー
7	1		期末試験　～5日まで
	20		終業式(登校してリモート)
	23	オリンピック開会式	

令和2年度 進路報告

進路指導部長
尾島 覚

もりこう会の同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝で、各方面でご活躍のこととご推察申し上げます。進路指導部より、令和2年度卒業生の進路状況をご報告させていただきます。

今年は全体で322名が卒業しました。就職14%、4年制大学47%、専門学校27%という結果でした。普通科は224名の生徒が卒業しました。大学63%、短大1%、専門学校19%、就職1%、という結果でした。（図1）工業科は98名の生徒が卒業しました。就職42%、4年制大学12%、専門学校41%という結果でした。（図2）

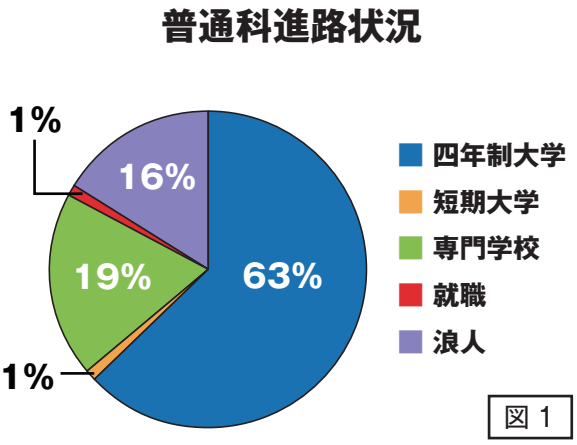

図1

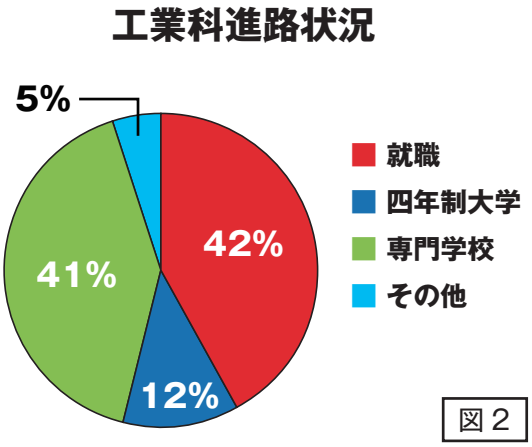

図2

今年も、大学による定員の厳格化の波に押し寄せられましたが、昨年の実績を上回る結果となりました。（表1）一重に生徒の努力と先生方の熱い進路指導のおかげで昨年度以上の結果となりました。今後とも引き続き努力し、生徒たちと共に力をつけていこうと考えています。

就職では、機械関係で日本冶金、小松ウォール、自動車関係でケーユーホールディングス、電気関係で、関電工、関工ファシリティーズ、関東電気保安協会、マキノ電設、カワデン、鉄道関係で京浜急行電鉄、その他として共立信用組合などへの合格者が出ています。

今年度も『生徒のための進路指導部』として、生徒たちの夢実現の手助けをしていきたいと思っております。

表1

国公立大学	人数
防衛大学校	2
北見工業大学	1
山形大学	2
高崎経済大学	1
東京海洋大学	1
横浜市立大学	4
都留文化大学	2

私立大学	人数
早稲田大学	1
東京理科大学	6
青山学院大学	2
中央大学	6
明治大学	3
日本大学	15
他　多数の大学に合格	

訃報

神 秀弘 さん
同窓会
元副会長

令和2年2月6日
88才で永眠されました。
昭和41年より多年に亘り、役員として活動し、会の発展に尽力されました。ここに謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

河井 昭夫 先生
工業科

令和2年10月27日
92才で永眠されました。

在職期間
昭和31年4月～昭和49年3月

●河井先生について

前会長　菊池 良幸

在学中は物理や科学を教わりましたが、その他にクラブ活動として音楽部では森工男性コーラス始め、定時制自治会の顧問として指導され、他校との交流も推進されました。そして定体連や野球等の役員も長らく勤められて、一年間の日曜日の三分の一も休めなかったそうです。大森学園になっても野球の応援に何度も行かれました。又、もりこう会の懇親会に時折出席され、語り合った日が想い出されます。これまでの御指導に感謝しつつ哀悼の意を表し、あらためて御冥福をお祈り申し上げます。

令和2年度 もりこう会 決算書　(自:令和2年4月1日～至:令和3年3月31日)

本誌では掲載しております

令和2年度 もりこう会寄付金(敬称略)

令和2年度 潮の光奨学基金寄付金(敬称略)

本誌では掲載しております

補助27号線 東邦医大通り（オニタビ通り）
内川　富士見橋　架け替え工事

大森駅・蒲田駅からバスで通学されていた方はご存知の内川 富士見橋 は現在道路拡張工事に伴う橋の架け替え工事が行われております。

写真は旧橋から仮橋へ切り替えた頃の写真です。現在旧橋は解体済みです。

富士見橋付近にあったクリーニング工場の跡地は、商業施設マチノマ大森になりました。

また、富士見橋交番は道路用地確保の為、東邦大学医療センター大森病院前に移転し名称は大森西交番になりました。

「東邦医大通り」も「オニタビ通り」も通称で正式には補助27号線という名称がついております。東邦医大通りの由来は名前の通り東邦医大（現在の東邦大学）の前を通る通りからきていて戦後呼ばれる様になったそうです。戦前はオニタビ通り。

オニタビ通りの由来は「鬼足袋」と言う足袋工場が戦前大森八中の校庭あたりにあったそうです。ちなみに大森駅～蒲田駅間の京急バスはこの区間を鬼足袋線と言うそうです。

平成の初め頃はオニタビ通りと言う人もいましたが、いつの間にかに言わなくなりました。

編集後記

会報「もりこう」の発行

平成十四年三月電気科卒業 広報委員長　渡辺亮

同窓会活動にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申します。

新型コロナウイルス感染症流行により昨年3月頃から活動を中止しておりました関係で、昨年6月1日発行予定でした会報50号が一年以上遅れての発行となりました。寄稿して頂いた方には大変お待たせして申し訳ございませんでした。本年春頃より会報の発行に向けて少しずつ進めてまいりました。当初50号・51号を合併する案もありましたが、50号はすでに原稿を寄稿して頂いている状況でしたので、分けて発行する事になりました。また、51号については断続的に緊急事態宣言が発令された事により感染防止の観点と原稿締め切り日の関係から新規の原稿依頼を中止し、母校の情報を中心に最低限の情報のみ掲載させて頂きました。次号はコロナの情勢が良くなり、通常の会報が発行できる事を祈っております。

最後に感染症の早期終息と皆様のご健康をご祈念申し上げます。

写真は私事ではございますが、私は大森出身で大森町（大森西五丁目）のお祭りの役員をやらせて頂いております。昨年十月に感染症終息を祈念し祭礼を開催した時、大森町商店街でたまたま安達毅先生が通りました。その際、お祭りの役員で学校に出前をしているそば屋の旦那さんが安達先生に気づいて、私に声をかけてくれました。その時撮影して頂いた写真です。

★ 卒業生の皆様へ ★

令和3年度 もりこう会 総会中止のお知らせ

本会ではコロナ禍のなか、昨年来休止中でありました役員活動を本年4月に再開し,会報の発行を本年9月に総会の開催を10月に予定のうえ、これまで鋭意準備を進めてまいりました。

しかし、この間コロナウイルスの感染状況は衰えるどころか、特に近時の於いては寧ろ急激に拡大致しておりますことはご承知のとおりです。

この様な状況に鑑みて、会員の皆様ならびに関係各位が一堂に会して、安全安心を確保しつつ総会等諸活動を行うことは、大変厳しいとの判断に至りました。

この判断から本年度も止むを得ず、**総会ならびに懇親会の開催を中止することと致しました。**

誠に残念ではありますが、会員の皆様にはご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

尚、本会の決算報告等ならびに母校の近況等は、年度ごとに各号に掲載しましたので目を通していただければ幸いです。

もりこう会ならびに奨学基金へのご支援ご協力のお願いについて

会長　大谷正勝
役員一同

会員の皆様には平素より本会に温かいご支援とご協力を賜り誠に有難うございます。

新型コロナウイルスによる感染症患者が国内で確認されて以来、1年半余りが経ちました。この間、種々の感染症拡大抑止対策が施されているものの、新たに変異ウイルスの出現が伝えられるなど、依然として厳しい状態が続いております。

1日も早く安全安心な日常生活に復することを願うとともに、会員の皆様もくれぐれもご自愛ください。

さて、もりこう会（以下本会と称す）では会報送付時「本会」ならびに「潮の光」奨学基金へのご支援をお願いしております。この度も誠に恐縮ではございますが、倍旧のご支援ご協力を賜りますよう、役員一同心よりお願い申し上げます。

（同窓会報寄付者名簿への掲載を御希望されない方は、払込取扱票に一筆御記入をお願い致します。）